

# Gpress

## せたがや

GpressのGは愛称「げんき」のGです。

第17号

2013年  
9月20日発行

「ジープレスせたがや」  
業務受託 社会福祉法人 嬉泉

## 子育ての難しさや 不安を感じている お母さんへ

子どもへの対応がむずかしい  
イライラしてしまう

子育てに  
自信がない、  
不安

子どもって、子育てって  
こんなはずじゃなかった・・・

子育てに頑張っているのに、  
誰も大変さをわかってくれない



世田谷区発達障害  
相談・療育センター  
って どんどころ？

世田谷区在住の発達障害のある方、またはその疑いのある方、その家族、関係者を対象としています。また、世田谷区の発達障害に対する支援を推進するための中核的な拠点施設として関係機関への支援や、広く区民の皆様に、発達障害について理解してもらうための活動をしています。

まずは  
お電話  
ください

世田谷区在住の発達障害のある方、またはその疑いのある方を対象としています。

**03-5727-2236**（「げんき」相談専用番号）

## 発達障害 Q & A

よく寄せられるご質問から

Q1 「発達障害の特徴」に  
あてはまると思うのですが、  
病院に行けばわかりますか？

A1 ネットや本で、発達障害かどうか簡単にチェックできるというリストが出ていますが、そのなかのいくつかがあてはまるからと不安になっている方がいます。また、病院にいけば一、二回の診察ですぐ診断できるものと思われているかもしれませんが、診断には、成育歴を含め幼少期からの情報を聞き取り、行動観察や必要な検査などを行います。専門の医師の数も多くない状況ですが、幼児期から成人期まで、数多くのケースを長年みている私でも、例えば成育歴のわからない成人をその場で診断をくだすことは難しいと思います。

誰しも、発達障害の特性といわれているものに似た行動の一つや二つはあるのではないのでしょうか。それをすぐに「発達障害だ」と安易に決めつけることは大変危険です。

発達障害は見た目でわかりにくく、またその大変さも伝わりにくい障害です。精神障害とも混同されていることも多いようですが、対処方法も違っており、現在のところは確立したものはありません。その人にあった相談や療育指導を根気よく行うことが大切です。

回答者

世田谷区発達障害相談・療育センター診療所長  
山崎晃資（医師）

## 世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」

### お知らせ

「げんき」主催講演会  
『発達障害のある人の  
地域での自立を考える』

講師：本田 秀夫氏  
（医師・山梨県立こころの発達総合支援センター所長）

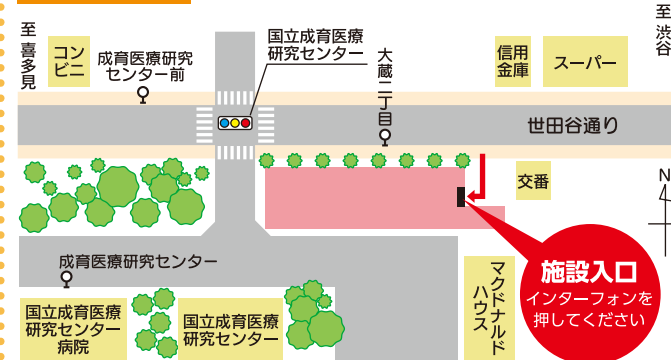
日時 12月7日（土曜日）  
18時15分～20時15分

場所 成城ホール  
定員 200名（先着順）  
参加費 無料  
申込み 11 / 15より

申込は  
11/15  
から

申込み専用電話  
03-5727-2237 にて受付  
問合せ 世田谷区発達障害相談・療育センター  
「げんき」  
電話：03-5727-2235（代表）

### アクセス



「成育医療研究センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

東急バス・小田急バス	小田急バス
(※24) 成城学園前駅⇨渋谷駅	(※26) 調布駅南口⇨渋谷駅
東急バス	東急コーチ
(都立01) 成城学園前駅⇨都立大学駅北口	(玉31-32) 二子玉川駅⇨成育医療研究センター
(※12) 成城学園前駅⇨等々力操車所	(用06) 成城学園前駅⇨用賀駅

渋谷方面行きのバスにご乗車の場合は「成育医療研究センター前」で下車。東急コーチ、成城学園前駅行き、調布駅南口行き方面のバスにご乗車の場合は「大蔵二丁目」で下車。  
※専用駐車場はありません。

開所日時 月～土曜日（祝日及び年末年始を除く）  
午前9時～午後6時

利用方法 利用は予約制です。利用を希望される方は、直接『世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」』へお電話にてお申し込みください。  
〒157-0074 世田谷区大蔵 2-10-18  
大蔵二丁目複合型子ども支援センター 2・3 階  
TEL 03-5727-2235（代表）  
03-5727-2236（相談専用）  
FAX 03-5727-2238  
URL <http://www.ryo-iku.jp>

業務受託：社会福祉法人 嬉泉

〒156-0055 世田谷区船橋 1-30-9  
TEL 03-3426-2323 FAX 03-3706-7242  
URL <http://www.kisenfukushi.com>

### アンケートご協力ありがとうございました

Gpressについて、ご感想、どんな記事が役に立ったか、どのように活用されているかなどについて、配布先機関にご協力いただきアンケートを実施しました。お忙しいなか多くの機関からご回答をいただきました。発達障害のある子どもたちやそのご家族の立場から、生活の場や学校でどんなふう感じているのかをお伝えした記事が良かったのご感想が多く寄せられました。また障害について家族や支援者がより理解を深めるための医師や専門家からのメッセージも好評でした。回覧、ファイルしてなど多くの方の目に触れるよう配慮いただき、ご活用いただいているところも多いと知り、大変ありがたく思っています。いただいたご意見をもとに今後の紙面作りに、また「げんき」の活動に活かしていきたいです。ご協力ありがとうございました。



# 子育ての難しさや不安を感じているお母さんへ



いつでもチョロチョロ動き回ります。スーパーに買い物に行っても、走り回り商品にさわったり、周りの人から「なんでやめさせないの。しつけがなっていない」と怒られたり、しつけのできない母親とも思われているようで、イライラします。どうすればいいのかわかりません。



ここでは困った行動を子どもの側から考えてみたいと思います。これらの様子は、＝(イコール)発達障害ということではなく、環境によりこのような行動をとる子どももいます。子育ての難しさや不安を感じているお母さん方のヒントになればと思います。

大切なことは、子どもには子どもの立場があるということです。子どもの行動をよく見て、まずその思いを受け止めてみましょう。その上でお母さんの思いを伝える工夫をしてみてください。

「△△ができない子」と決めつけるのではなく、「〇〇といえはわかる子」という面も見えてくると思います。こうしてお母さん自身のストレスを減らし、お子さんとお母さんの気持ちがだんだん安定してくるといいですね。



## ヒント

### お子さんも困っているのでは… ちょっと視点を変えて

子育て、本当に大変ですよ。

例えば、スーパーに着いたとたん、好きなおもちゃのところに飛んでいってしまったり、触ってはだめといってもやめてくれない。気の休まるときもありません。

**お子さんはなぜこういう行動をとってしまうのでしょうか？**

もしかして、興味のあるものが沢山見えたのか、気持ちが落ち着かなくて、じっとできないのかもしれませんが。わざと人前で言うことをきかないという反抗をしているのかもしれません。

**お子さんはお買い物のどんなことに興味がありそうですか？**

**どんなことだったらお手伝いできそうですか？**

例えば、何かを取ってきてカゴに入れたり、買い物車を押す係。また、「この2つだったらどっちがいい？」と品物を選んでもらうなど、簡単なものだと思います。お子さんの年齢や様子に合わせて、数えること、大きい小さい、文字を読むなど、知っていることや得意なこと、興味を持っていることなどを活かしてみてください。お子さんに頼めることが見つかる、お買い物の時間は、お子さんにとっても「お母さんの役に立っている」楽しい時間になるのではないのでしょうか。

お母さんが自分のことを認めてくれているという安心感が、行動や気持ちの安定につながっていきます。



## 「げんき」からのメッセージ

子どもの困った行動には、年齢相応の行動もあれば、上手な対応で「困った」行動にならずにすんでいくこともたくさんあります。子育てがストレスや不安になっているとき、頑張ってもなかなかうまくいかないときには、一人で抱えてしまわず、専門の機関を利用するのも一つの手です。「げんき」でもご相談できますので、ご利用ください。

**「げんき」相談専用電話 03-5727-2236**